

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

看護部長 新任ご挨拶

副院長・看護部長 伴 真理子



本年の 4 月から、副院長・看護部長を拝命いたしました伴 真理子です。

私は、大学病院で 5 年間勤務した後、西部病院の開
設要員として異動してきました。開院から 29 年を経
た今、西部病院を取り巻く環境は随分と変わりました。

入院期間は年々短くなり、短期間に医療が集中し、看護師の必要人数も増えました。現在看護
部には、518 名の看護職員が配置され、病院で一番の大所帯です。4 月には、62 名の新人看
護師が入職し、日々奮闘しております。

西部病院は、地域中核病院として地域の皆様の健康回復と保持増進を担う使命があ
ります。西部病院の理念である「生命の尊厳を重んじ、常に病める人の声に耳を傾け
癒すこと」を常に念頭に置き、五感を使って声にならないメッセージまでキャッチで
きるような看護集団でありたいと思います。さまざまな環境が変化していったとして
も、地域の皆様の声を大切に信頼される病院であるよう努力する所存です。



Seibu Time ⑬『こども自然公園』

当院から南東へ約 4 km の場所にあるこども自然公園は、横浜の中でも最大級の面積を持つ
公園で、大きな池が中心にあります。約 6 6 0 0 平方メートルのこの池は、江戸時代中期に灌
漑用水池としてつくられたと伝えられ、天明の大飢饉の際には、この池の水と魚が多くの人々
の飢えと渴きを救いました。その当時、池畔には弁財天が祭られ、「本宿の大池」として親し
まれていたところから、現在でも別名「大池公園」と呼ばれています。

この公園は、旭区の夏のイベント「旭ジャズまつり」などビッグイベントの会場になるほ
か、ちびっこ動物園、とりでの森、青少年野外活動セ
ンター、バーベキュー広場、野球場、教育水田など、
数多くの施設が整っているため、他の市町村から団体
や個人でやって来るお客さんも多いようです。身近に
ある自然たっぷりの公園へ、足を運んでみられてはい
かがでしょうか。



(旭区ホームページ、横浜市環境創造局ホームページ
より一部転載)

看護週間のイベントを開催！

近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年5月12日は「看護の日」、そして12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」として定められ、全国各地で様々なイベントが開かれています。当院では、5月11、12日に看護週間のイベントを開催し、両日合わせて429人と、大変多くの患者さま、ご家族の方が参加されました。内容は、血圧測定、体脂肪測定、お薬相談、栄養相談、介護用品の展示、看護師によるミニレクチャー(リラックスヨガ、手指衛生、足のむくみケア、足・つめのケア、脳トレーニング)等です。

アンケート結果を見ると、「普段できないことを体験した」「知らないことを教えてもらった」などの意見のほか、「楽しかったからまた参加したい」「イベント開催の宣伝をもっとやってほしい」といった好意的なご意見もいただきました。イベントは、「患者さまや地域住民の方々と交流し、看護や健康に関する理解と関心を深める」ことを目的としています。短い時間ではありましたが交流を図ることができ、患者さんの笑顔をいただけたことを嬉しく思います。ご参加、ご協力をいただきました皆さま、ありがとうございます。

看護週間イベント担当：外来師長 道明晴美

シリーズ 部署紹介 #07 リハビリテーション部

リハビリテーション(rehabilitation)は、古いラテン語でre(ふたたび)+habilis(適した)を語源とすると言われ、「再び適した状態になる」、「本来あるべき状態へ回復する」という意味があるとされています。適応となる疾患も脳神経系、運動器系、循環器疾患、呼吸器疾患を中心に多岐にわたり、最近ではがんや廃用症候群などにも広がっています。当院では現在理学療法士13名(うち1名非常勤)、作業療法士5名、言語聴覚士3名で数多くの患者さんに対応しております。また、看護助手2名、受付事務員3名が所属し、チームワークで頑張っています。

リハビリテーションの現場で最もうれしいのは、今まで立つこともできなかった患者さんが歩けるようになり、それぞれのゴール目標に到達できた時、また患者さんやご家族から感謝の言葉を頂いた時です。現場では、各療法士たちが患者さんと接する時間が時には担当医師よりも長く、信頼関係を築くことが治療効果をあげることの重要なポイントになります。そのためにも、リハビリテーション部皆の力を合わせて一人でも多くの患者さんの笑顔を見ることができるよう頑張っていこうと思っています。是非ご理解とご協力をお願いいたします。

リハビリテーション部長 大宮一人
(循環器内科部長)



活躍しています！『がん看護専門看護師』

がんは、高齢化に伴い日本人の2人に1人が発症するまで増加しています。また、治療の進歩から治療を受けながら生活が続ける方が多くなっています。当院は地域中核病院であり、病気で通院されていた方が、さらにがんの治療も受けるようになる場合がほとんどです。

多くの方はがんと聞いて今後の事について不安になり、時間がたつと治療と共にどう生きるか悩まれています。このようながんと診断された時からの不安や悩みを、一緒に考えることが少しでも出来るように、私は活動しています。具体的には、がん看護専門看護師として、病棟や外来、緩和ケアチームでの活動を通し、多職種の方と連携し病院全体の看護の質の向上に取り組んでいます。また、機会があれば病状説明に同席し、患者さんの思いを尊重して治療や療養が行えるように支援をしています。このような関わりの中で、患者さんが自らを振り返り、改めて自分の事を知り、家族の大切さに気づき、自ら成長できたと困難な中でも笑顔になる方もおり、私も患者さんと共に成長させて頂いております。がんという困難な状態ではありますが、患者さんが少しでも自分らしく過ごせるように、私たちは活動を続けていきたいと思っています。



緩和ケアチームのメンバー



筆者

がん看護専門看護師

田代千香

患者さまのご意見から No.11

- ・西部病院の敷地内で、患者が喫煙をしていた。「敷地内禁煙」という看板のすぐそばで喫煙していたのに、病院の職員らしい人など誰も注意していなかった。

当院からの回答

ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。職員による注意の励行は、早速、院内へ指示を致しました。ご利用の患者さまが不快な思いをされないように、気をつけていきたいと思ひます。

いただいたご意見の中に記載されていた通り、西部病院の敷地内は禁煙とさせていただきます。これは、受動喫煙による健康への悪影響から県民を守るためのルールとして、平成22年4月に「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が施行されており、不特定又は多数の者が出入する室内等は、禁煙、または分煙となっています。

- ・学校、病院、商店、官公庁施設など(第1種施設)→禁煙
- ・飲食店、ホテルなど(第2種施設)→禁煙又は分煙

なお、「道路や歩道は、病院の敷地ではないので、喫煙しても構わないのでは？」とのご意見もあるようですが、煙(有害な成分を含む副流煙)は、病院の敷地に流れてきます。受動喫煙防止条例の主旨をよくご理解いただくと大変嬉しく思ひます。



転倒転落予防イベントを実施しました



このイベントは、以前、当院で発生した事故を風化させないために、毎年開催しています。今年は6月1、2日の2日間、地下1階では院内各部署での予防の取り組みをポスター展示し、1階では患者さま向けに転倒転落予防体操や予防具の展示、行動制限の説明等を実施しました。予防体操は、期間中120名余りの方が参加され、大変好評だったようです。また、予防具を初めて見る方は、興味深そうに手にとっていらっしゃいました。



転倒転落の予防には、患者さまご本人だけでなくご家族の協力も欠かせません。年齢と共に、体力、筋力が衰えて、小さな段差につまずくことも増えてくると思います。体力作りと環境を整えること（家の中を片付ける等）の大切さを、これからもお伝えしていきたい、と思っています。

看護部 安全対策委員会委員長 森みさ子



総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中、または外来診療中の患者さま、ご家族のご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を守ります。どうぞ、お気軽にご相談下さい（ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします）。内容は、以下の通りです。

【ソーシャルワーク係】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことを相談したい、医療費や生活費が心配、転院の相談 など。

【ホームケア係(看護相談など)】介護の仕方が分からない。訪問看護を受けたい など。

【地域医療連携係】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい など。

【総合案内】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい など。

【患者さま相談窓口】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：

- ・ソーシャルワーク係、ホームケア係(1階正面玄関横)
- ・地域医療連携係、患者さま相談窓口(1階産婦人科外来横)
- ・総合案内(1階正面玄関)



当院は原則として「**初診紹介制**」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関（かかりつけ医等）からの「紹介状」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認ください。

【当院の休診日】 日曜日、国民の祝日、第1・3土曜日、開学記念日(10月第2土曜日。今年は10/8です)、年末年始(12月29日～1月3日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 地域広報小委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)